

連合「なんでも労働相談ダイヤル」 (☎ 0120-154-052)
2015年 5月 相談集計報告

○全体の特徴

■前年同月に比べ女性からの相談が2.8ポイント増加した。雇用形態別では、正社員からの相談が7.2ポイント増加した。

■業種別では「医療・福祉」が16.5%と最も多く、次いで「サービス業」(16.0%)「製造業」(15.1%)となっている。相談内容では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」に関する相談が、前月と同様に1位となっている。厚生労働省「平成26年度個別労働紛争解決制度施行状況」(2015年6月12日公表)でも、「いじめ・嫌がらせ」に関する相談が3年連続トップとなっている。

■具体的な相談では、「上司が横暴な人である。言葉の暴力がひどく、入居者の前で罵倒されたり、シフト作成時には、上司と仲の良い職員には希望を聞くが、残りの職員には聞かないなどのパワハラを受けている」「個人病院で勤務している。体調不良で休んだら、上司から謝罪文を書かされた。その後、解雇通知を受け、退職届を書かされそうになった」など、医療・福祉の現場で働く方からのパワハラ・嫌がらせに関する相談が見られた。

		2015年			2014年		
集計対象期間		5月1日～5月31日			5月1日～5月31日		
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		1,045			1,236		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目		内容	件数	割合	内容	件数	割合
性別 (未報告除く)	男性		530	52.6%	男性	649	55.4%
	女性		477	47.4%	女性	522	44.6%
年代 (不明除く)	10代		4	0.5%	10代	11	1.2%
	20代		104	13.5%	20代	124	13.1%
	30代		182	23.6%	30代	201	21.2%
	40代		244	31.7%	40代	328	34.6%
	50代		156	20.3%	50代	197	20.8%
	60代		64	8.3%	60代	81	8.5%
	70代		16	2.1%	70代	7	0.7%
雇用形態 (不明除く)	正社員		527	54.7%	正社員	553	47.5%
	パート		149	15.5%	パート	173	14.9%
	アルバイト		63	6.5%	アルバイト	74	6.4%
	派遣社員		56	5.8%	派遣社員	89	7.6%
	契約社員		73	7.6%	契約社員	136	11.7%
	嘱託社員		8	0.8%	嘱託社員	15	1.3%
	臨時・非常勤職員※		7	0.7%			
	その他		81	8.4%	その他	124	10.7%
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	113	16.5%	サービス業	161	16.8%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	109	16.0%	医療・福祉	145	15.1%
	3位	製造業	103	15.1%	製造業	137	14.3%
	4位	卸売・小売業	86	12.6%	卸売・小売業	125	13.0%
	5位	運輸業	62	9.1%	運輸業	76	7.9%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ※	117	11.3%	解雇・退職強要・契約打切	153	13.5%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	109	10.6%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ※	128	11.3%
	3位	退職金・退職手続	81	7.9%	就業規則・雇用契約	74	6.5%
	4位	雇用契約・就業規則	69	6.7%	退職金・退職手続き	67	5.9%
	5位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	53	5.1%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	67	5.9%

※の部分、2014年6月から表記を変更しました。